

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こばんはうすさくら 浜北東教室

公表日 2026年2月20日

利用児童数 21名(家庭数17)

回収数 16

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10	4	1	1	・人数の割に少し狭いのではないか ・走ったりしているから大丈夫 ・限られたスペースを活用している	学年が大きくなったことで教室に限りも生じてきましたが、空き地や活動部屋を分けたりと工夫してまいります。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	13	1	0	2	・足りていると思う ・職員は目が届いていると思う	適切な職員配置はもちろんのこと、お子様のご様子についても目を光らせてまいります。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13	1	0	2	・勉強をする部屋と遊ぶ部屋の区別が分かりやすい ・視覚情報がありわかりやすい	視覚的な情報を意識したり、すべてのお子様にわかりやすい環境づくりを継続してまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているだと思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15	1	0	0	・車通りが多い道沿いのため、外活動が心配 ・よく清掃されている	外活動の際に道路沿いに職員を配置したり印を置いて活動範囲を設定したりと、安全に配慮した活動を行ってまいります。
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15	1	0	0	・親身に話を聞いてすぐ取り組んでくれる ・特性が強いがよく理解して寄り添ってくれている	お子様にも保護者様にも寄り添った支援を心掛け、職員にもそのような指導・研修を行ってまいります。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14	0	0	2	・あっていると思う ・支援プログラムをはっきり覚えていない	支援プログラムについては周知・好評をわかりやすくできるよう、今後検討させていただきます。
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	16	0	0	0	・子どもを理解して作成してくれる ・計画の説明をしっかりしてくれる	お子様の課題や保護者様のニーズを聞き取り、その時に合う計画の作成、丁寧な説明を継続してまいります。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16	0	0	0	・個々に合わせて具体的に設定してくれていると思う ・具体的な支援内容が設定されている	個別支援計画から具体的な支援を職員間で検討し、専門的支援等を踏まえて目標達成に向けて具体的な支援・説明を心掛けてまいります。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15	0	0	1	・送迎時に先生が詳しく教えてくれる ・計画に沿っている	今後も対面での丁寧な説明や報告を行い、具体的な支援内容を共有させていただきます。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14	2	0	0	・活動内容がいつも違うので、色々取り組んでくれている ・工夫されている	活動内容に関するミーティングを定期的に行なうことで、全職員でプログラム内容を検討してまいります。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	1	2	6	7	・あるかわからない ・聞いたことがない ・あまり交流はない	現在児童クラブや地域のお子様との交流は行っておりません。今後必要に応じて検討してまいります。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15	0	0	1	・丁寧な説明があった	契約時の説明に加え、法改正時には改めて説明をさせていただいております。
保護者への説明等	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16	0	0	0	・確認しながら説明してくれた	個別支援計画や専門的支援計画は、作成者が保護者様に説明しながらお渡しするようにしております。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	14	0	0	2	・講演会でためになるお話を聞くことができた	講演会にご参加いただきありがとうございます。今後も保護者様のニーズに合うものを模索してまいります。
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができると思いますか。	15	1	0	0	・送迎やリトムで詳しい活動内容を教えてくれる	保護者様にはお子様の様子を丁寧に伝えるよう職員に指導しております。今後も継続させていただきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15	1	0	0	・悩んだときに寄り添って相談に乗ってくれる ・気軽に相談できる	職員だけではなく保護者様と共に歩んでいるつもりで支援をしております。今後も気軽にお話ししてもらえるように努めてまいります。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15	1	0	0	・家族や子どもの意見を聞いたうえで対応・理解をしてくれていると思う	支援者の一方的な意見にならないよう、保護者様やお子様に共感しながらの支援を心掛けてまいります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	2	3	6	・保護者同士の交流は求めてない ・現在くらいの参加だとありがたい ・防災時には保護者の繋がりがあると助け合えるのではないか	様々な保護者様のお声がありますので、今回の評価も踏まえて今後検討してまいります。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることにについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14	1	0	1	・迅速に対応してくれる ・送迎の時に相談するとすぐに相談に乗ってくれる	お子様や保護者様からの相談については迅速に共有し、その後の対応をすぐに検討しております。今後もそのような対応を続けてまいります。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14	2	0	0	・情報伝達できている ・送迎時など子どもの様子や必要なことを伝達してくれるの助かる	些細なことでも保護者様にはお伝えいただき、また、保護者様からもいつでもお話をいただけいるよう日々意識しております。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	11	4	0	1	・もう少しイベントの様子や活動の様子を写真で見たい ・子どもの写真が少ないことがある	できるだけ多くのお子様が写るよう、職員に改めて周知させていただきます。

	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16	0	0	0	・大丈夫だと思う ・留意されている	個人情報については日ごろから職員に扱い方を指導しております。今後も継続させていただきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15	0	0	1	・子どもにわかりやすい訓練がされていると思う ・認識はしていない	訓練実施時には保護者様にも知っていただけるよう、今後は周知の方法も検討してまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	16	0	0	0	・定期的に訓練されている ・避難所まで歩く訓練も行われている	年4回の防災訓練を始め、職員のみの研修も行っております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16	0	0	0	・安心して子供を通わせられている	安全計画による点検はもちろんのこと、事業所内で危険個所や車両点検は今後も継続してまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12	0	0	4	・事故等が発生していないのでわからない ・細かな連絡はくれる	重大事故を起こさないように気を引き締めつつ、何かあった際にはすぐにご連絡をさせていただきます。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	16	0	0	0	・安心できる場所になっている ・安心してるからこそ素が表れていると思う	お子様に安心して通っていただける関係作りや環境づくりを今後も行ってまいります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	12	4	0	0	・帰ってくると笑顔で活動を教えてくれる ・お昼寝タイムは嫌だという	全ての活動にご納得いただくことは難しいですが、少しでも納得いただけるよう伝え方や支援方法を工夫してまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	15	1	0	0	・大変満足している ・今後もよろしくお願いいいたします ・おやつの内容に不満がある	おやつに関するご意見ありがとうございます。どのようなご不満か、また教えていただければ幸いです。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こばんはうすさくら 浜北東教室				公表日	2026年 2月 20日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2	2	人数が多くなってしまうが、2部屋分けたり外での活動も取り入れている。	学年が上がっている事で、教室の限界が生じ始めている。活動内容や空き地を活用していく必要がある。	
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	2	活動内容に応じて職員が柔軟に動くことで、適切な配置で活動できるよう配慮している。	バリアフリーが必要な利用者はいないが、今後もし必要があれば工夫する必要がある。	
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	0	イラストや写真などの掲示を用いて、視覚的に分かりやすい空間づくりを行なっている。	プラスチック製のおもちゃを中心に経年劣化で破損してしまう事がある為、定期的な確認が必要。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	2	2	落ち着いた色合いのカーペット等で穏やかな環境づくりを行なっている。	夏場は特に子供たちの熱気があり、エアコンの効かせ方を検討する必要がある。	
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	1	状況に応じて、完全個別は難しいがバーテーションや事務所を用いている。	年齢が上がってきた為、思春期で個別な対応が必要な際は柔軟に場所を使用していく必要がある。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	0	全職員参加でミーティングを行ない、その中で業務効率化ができないか検討している。	当日の送迎等で参加できなかった職員へのミーティング内容の共有の仕方の工夫が必要。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	保護者用アンケートの実施や連絡帳でのご意見等、その都度職員間で共有し検討している。	実現が難しいご意見も踏まえ、どの程度なら実現ができるのか、さらに最善を尽くしていく必要がある。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	1	6番の問い合わせ同様、職員ミーティングを行ない業務改善につなげている。	業務の負担が一部の職員に偏ってしまう事がある為、職員間で一層フォローしあう必要がある。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	4	実施していない。	第三者による外部評価は行なわれてないが、関係機関と連携を取る中でご意見を頂いている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	研修のお知らせが来ると、積極的に職員も研修に参加している。	研修に参加できなかった職員への研修内容の周知が必要である。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0	支援プログラムを作成しホームページ上にて公開している。	利用者によってどこで支援プログラムが公表されているか知らないという意見もあるため、さらなる周知が必要。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	0	支援計画作成時・更新時には子ども自身や保護者から直接聞き取りを行なっている。	今後も保護者だけでなく、子ども自身からの聞き取りを継続していく。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	ミーティングの時間に限らず、職員間で子ども様子を共有し、今の実態に合った計画を作成するようにしている。	今後も職員間での細かな共有を続け、利用者に寄り添った検討を継続していく。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	1	個人記録に個別支援計画の目標が併記されているため、全職員が目標を理解できた中で支援を行なっている。	今後も個人記録を用いながら、現在の目標に沿った支援を継続していく。	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	1	上述のように個人記録に日々の子どもの様子を記録している。	標準化されたツールを現場で直接用いる事は少ないため、今後導入を検討していきたい。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0	子どもの学年や状況に応じて、進路や家族に関する支援も含んだ個別支援計画を作成している。	個別支援計画に含まれているため、各職員が子どもの進路や家族支援について、さらに理解を深める必要がある。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0	活動プログラムに関するミーティングを開催し、職員全体で活動内容を検討している。	活動プログラム実施者ののみの負担にならない様に、サポート職員も十分な活動内容への理解が必要。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	上記同様。	同じ職員が同じ活動をするではなく、実施者を変える事で活動内容に変化をつけていくたい。	
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	0	学年やその時の状況をみて、少人数での活動や全体での活動、又は個別活動を取り入れている。	個別活動については、なかなか実施することが難しいため、必要性を考えながら柔軟に取り入れていきたい。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0	その日の職員配置や活動内容の確認を登所前に必ず行っている。	専門的支援については、どのような視点でその活動を行うのかという意図も重要になるため、丁寧な共有が必要。	

	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	1	帰り送迎後は終業時間になってしまうため、メモを残したりしながら、翌朝職員間で共有できるようにしている。	子どもの様子の共有だけでなく、集団活動等のプログラム内容についても振り返りを更に行なっていきたい。
	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0	その日の利用者については、必ず個人記録に当日の様子を記入している。	個人記録の分担について、一人の職員がたくさん書くことがないように、多くの職員で分担するよう努めている。
	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0	問12同様で、6か月ごとに子ども自身や保護者の方と面談を行なっている。	今後も定期面談を継続し、必要に応じてはさらに面談の機会も設けていく。
	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	3	1	これまで同様、集団活動や自由時間、季節工作、外食体験等、様々な活動を取り入れている。	買い物体験で地域の駄菓子屋に行くことがあったが他は地域交流がなかったため、今後増やしていきたい。
	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	0	回答を1択で迫るのではなく、選択肢を要した質問を心掛けている。	相手によっては曖昧な選択肢ではなく、具体的な選択肢も提示しながら支援する必要がある。
関係機関や保護者との連携	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0	会議には児発管が出席するが、その前には職員間で直近の対象児童の様子を、その後には会議内容を共有している。	児発管以外の直接参加が難しいが、できるだけ対象児童をよく知っている職員も参加できると望ましい。
	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0	積極的に情報提供を行なったり、必要に応じてはこちらから質問をしたりして連携を取っている。	各機関それぞれに忙しさがある為、なかなか連携を取ることは難しいが、少ない機会の中で常に情報共有できるように努めたい。
	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	0	日々の送迎時から子どもの様子を聞きとるようになつて、必要がある際には担任に話しかけ連携を取るようにしている。	全職員が同じように先生方と連携を取るのは難しいが、多くの職員が先生と関わるようになっていきたい。
	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	2	就学前に利用していた事業所等や相談担当者から情報共有してもらうようにしている。	直接就学前の施設から直接話を聞く機会は少ないため、さらに積極的に連携を取っていきたい。
	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	2	大きい子が増えてきているため、就労移行支援の情報等を收集しつつでも情報提供できるよう準備している。	現状管理者しかその情報について詳しくないため、他職員へも周知や研修を行なっていく必要がある。
	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	2	スーパーバイズを受ける機会は少ないが、事例発表を行う事でドクターからの助言を頂く機会があった。	色々な事例があるため、スーパーバイズが受けられる場を増やしていく必要がある。
	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	3	現状、地域の子どもと交流する機会がなくなっている。	子どもたちの特性に配慮しながら、様々な交流の機会を模索していく必要がある。
	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	3	1	オーナーや管理者が参加している。	現場職員が参加することは難しいが、その内容等については共有し理解していく必要がある。
保護者への説明等	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	送迎時や連絡帳、または電話でのやり取りを通じて細かく連携を図っている。	職員の保護者対応について、全職員が多くのご家庭とやり取りできるように、保護者対応の指導もさらに行なっていきたい。
	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	0	本年は福祉と防災について、保護者を対象に外部講師を招き講演会を行なっている。	保護者へのペアトレも含め、職員もそのような研修を受けていく必要がある。
	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0	契約や法改正のタイミングで保護者へのお手紙や必要に応じて管理者等が直接説明をしている。	管理者等だけでなく、いろいろな職員が制度の仕組み等を理解できるようにしておく必要がある。
	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0	選択肢のある質問や利用者自身から直接でた意見を尊重し、計画作成や支援を行なっている。	本当の気持ちを発信できない子どもいるため、関係づくを丁寧に行なっていく必要がある。
	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	3	1	モニタリング面談も含め、支援計画作成時は保護者への説明と同意を取っている。	今後も保護者と丁寧に連携を取りながら、納得いただける計画を作成していく。
	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0	定期的な面談だけではなく、保護者からの要望に応じた面談や電話での相談対応を行なっている。	保護者からの声がすぐに頂けるように、相談しやすい関係づくりに努めしていく。
	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	1	3	保護者会やきょうだい同士の交流等は行なっていない。	保護者の要望を聞きつつ、必要があれば保護者会等の場を検討していきたい。
	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	苦情やご意見についてはすぐに管理者等に報告し、その後の対応を検討、そしてご家庭に返事をしている。	保護者から忌憚なきご意見がもらえるような関係性を築き、信頼関係の維持に努める。
	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	0	公式SNSを用いてイベントの様子を写真や文書付きで発信している。	イベントから時間が空いてからの発信になってしまふ事があるため、早く発信していく必要がある。
	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0	個人情報の書かれた書類はシュレッダーで破棄する等して、外部への持ち出しがないようにしている。	引き続き個人情報扱いに関しては職員間で気を付けるよう注意していく。

	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0	言葉だけでの指示ではなく、「挙手での合図」や図等を用いて伝達するよう正在している。	言葉でのやり取りについて、外国籍のご家庭へのお手紙等は工夫が必要である。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	2	講演会については、市内の他こばんはうすにも呼び掛けて希望のある保護者に参加して頂いている。	防災訓練については非常時を意識し、地域に開かれた内容の企画を検討していきたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0	各種マニュアル研修を年度始めを中心に行なっている。	研修だけではなく、日頃から目を通して全職員で内容を共有・理解していきたい。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0	地震や水害を意識した防災訓練を年4回以上行なっている。	保護者との引き渡し訓練や送迎時の訓練をより充実させていきたい。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4	0	契約時の聞き取りを始め、服薬等が必要な際には保護者に確認を取っている。	てんかん発作に関する職員側の理解を深めるための研修等を行なっていきたい。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	0	アレルギーがある子どもについては、おやつの内容を配慮したりと工夫している。	てんかん同様にアレルギーに関する職員側の理解を深める研修を行なっていきたい。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0	安全計画に沿った設備点検(草刈りや車両点検等)を行なっている。	必要に応じて点検内容が多少前後することもあるため、状況に応じて柔軟に行う。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	0	安全計画を年度初めに公表し、実施した内容についても共有を行った。	安全点検内容等が全て周知できたわけではないため、さらに周知できるよう努めていく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0	個別記録とは別にヒヤリハット用用紙も用意していて、年2回ヒヤリハット事例について職員で検討会を行っている。	ヒヤリハットの基準が曖昧になってしまったため、些細なことでもヒヤリを感じたら記録していきたい。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0	職員対象に虐待研修や年3回は虐待アンケートを行っている。	職員間で虐待を見過ごさない雰囲気や、お互いの支援に関して意見できる環境づくりをしていく必要がある。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	2	2	現在、身体拘束は行っていない。	今後身体拘束の必要が生じたら、改めて職員に手続きに関する理解等を深めていきたい。